

D 部 會

れて平行線上に木造の仮橋脚橋台を設けて 40ft 20連の鈑桁を架設，8月23日開通せしめ，引つゞいて本復舊に着手し24年1月10日完成，本線に切換えた。以下順を追うて述べて見る。

應 急 復 舊

鐵桁の墜落と橋台橋脚の破壊

應急復舊計畫及工事行程と水害

仮橋台橋脚の杭打と架柱組立

鐵 桁 の 架 設

破壊橋脚の取毀しと墜落桁の撤去

本 復 舊

設 計 の 大 要

施 工 方 針

鋼矢板及仮井筒の沈下工法

材料運搬棧橋及ケーブル

工 程 實 績

鐵 桁 の 架 設

D-8 停車場關係構造物の設計について

仁 杉 巖

從來，停車場關係の諸構造物は色々な形のものであつて，目的を十分達していないような設計も行われていた。そこで新しい立場から停車場關係の地下道，給炭水槽，石炭台，検査坑，灰坑，洗滌台等について調査研究して設計をまとめたのである。

この設計を行ふに當つて

- (イ) 既設構造物の有する弱点を調査し，これが改良策を今回の設計に取入れる。
- (ロ) 構造物寸法の適否は使用上重大な影響があるので使用者及管理者の意見や希望を徴して決定する。
- (ハ) 設計資料を設計解説書及設計例として纏め，現場設計者の便を計る等を方針とした。

このようにして設計を進めた結果，戦後資料の亡失其他の障害を克服して一應の結論をえたので，こゝに各種構造物について設計圖を提示し，使用上必要とする形状寸法の説明，應力計算上の假定並に計算法等を重点的にのべるものである。